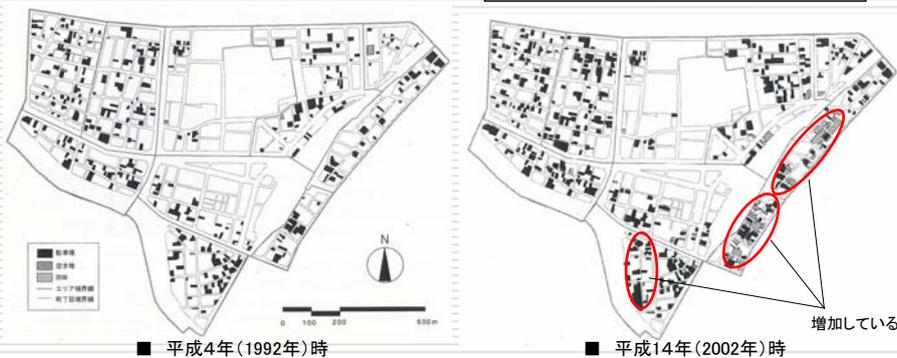
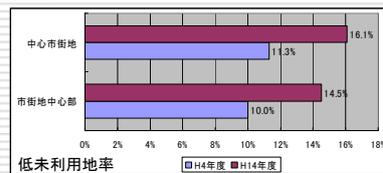


4. 都市基盤整備、土地利用

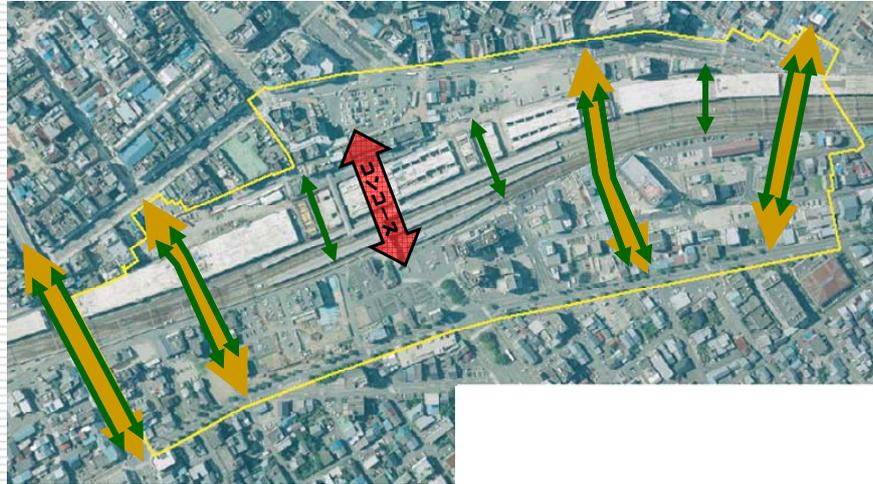
図4-1 低未利用地の状況

- 中心市街地内に低未利用地が点在している。
- 低未利用率は市街地中心部よりも高く、また平成14年度には増加している。



(出典: 福井市都心居住に関する研究報告書VOL. 2(平成14年度))

図4-2 連続立体交差事業による自動車交通等の改善



□ 考察(都市基盤整備、土地利用)

- ・中心市街地全体として空地率が増加しているが、福井駅周辺土地区画整理事業地区内の空地は事業の実施による一時的な増加である。他の地域では、住宅、商業施設など適切な利用が図られるよう誘導していく必要がある。
- ・連続立体交差事業や土地区画整理事業などの基盤整備事業の着実な実施により、適切な土地利用の誘導、歩行環境の充実を行っていく必要がある。